



南西小だより

令和4(2022)年度
南阿蘇村立
南阿蘇西小学校
学校だよりNo.12号
R5.2.21(火)
文責 佐藤 和也

◎みんなで考える「なかよし集会(人権集会)」

2月14日、本年度、学級で人権学習に取り組んだことをみんなで共有する「なかよし集会(人権集会)」を行いました。リモートの集会でしたが、各学年の発表から、全校で人権について考えることができました。始めに「県子ども人権集会」に参加した(オンデマンド動画視聴)子どもたちから感想発表がありました。参加した子どもたちは、自分から進んで参加した子どもたちです。校内の「なかよし集会」でも、参加して人権について学んだことを伝えようと、感想発表の練習を重ね、発表動画で感想や自分の思いをしっかりと伝えました。

○県子ども人権集会(オンデマンド)の感想発表から(一部)

- ・おかしことは、「おかし」と相手に伝えることは、大切だと思いました。
- ・いっしょうけんめい、みんな自分の思いを伝えようとしているところがすごいと思いました。
- ・先生から子ども集会のことを聞き、友だちのことを考えられるかなと思ったから、参加しようと思いました。
- ・私も「みんなが安心してらせるかんきょうをつくりたい」と思いました。「知る努力、知ってもらう勇気」という言葉が心に残りました。
- ・自分のことばかりでなく、まわりの人のことを考えることが大事だということが分かりました。気持ちを伝えていって、わかり合えるのがいいと思います。

各学年からは、人権学習や生活の中にある問題などから人権について考えたり、道徳や生活科、総合的な学習の時間等で学んだことから、人権との関わりを考えたりしたことを発表しました。

もっと友だちと仲良くなるために、友だちのいいところを見つけたり、よい行いを見つけたりする取組の発表、自分の名前由来を調べ、名前や自分が大切にすることに気づき、友だちのことも大切にしていきたいという発表、総合的な学習で、地域や平和について調べ、人権とのつながりを紙芝居やメッセージにまとめた発表等々がありました。

○感想交流から(各学年発表への感想のお返し)

- ・名前を大切にしようと思った。(2年生発表への5年生の感想)
- ・優しい言葉を使おうと思った。(5年生発表への1年生の感想)
- ・戦争では当たり前ができなくなってしまうと思った。(6年生発表への4年生の感想) 等々

各学年の発表内容は学年に応じたものでしたが、学年は違っても、人権を大切にしたいという気持ちが分かって嬉しく思いました。また、発表内容の多くが「南西小なかよし宣言」の内容と重なるものが多く、宣言を行動につなげたいという気持ちも伝わってきました。高まった気持ちが行動となるよう、これからも取り組んでいきます。



「県子ども人権集会」に参加した子どもたちの動画による感想発表



友だちのいいところをたくさん見つけた1年生



自分の名前由来を発表する2年生



学級の身近なことから発表した5年生



修学旅行で学んだことも伝えた6年生